

# 伶楽舎 雅楽

世界最古のオーケストラと言われている雅楽。  
その雅な演奏と華麗なる舞をお楽しみください。

## 曲目予定

### 管絃

- 「平調音取」(ひょうじょうのねとり)
- 「越天楽」(えてんらく)
- 「太食調音取」(たいしきちょうのねとり)
- 「合歓塩」(がつかえん)
- 「輪鼓禪脱」(りんこだつ)
- 「芝祐靖作曲 総角の歌」(あげまきのうた)

### お話し、楽器紹介

- 舞楽「還城楽[右方]」(げんじょうらく)
- 退出音声「長慶子」(ちょうげいし)



2025年

10月12日(日)

16:30 開場  
17:00 開演

※雨天決行(荒天時は中止にする場合がございます)

会場 越谷市日本文化伝承の館  
こしがや能楽堂

〒343-0015 埼玉県越谷市花田6-6-1

チケット  
全席自由  
(消費税込)

一般 2,000円 / 学生 1,000円

チケット発売日 / 7月6日(日)

サンシティホール

サンシティホール  
048-985-1112

【電話・オンライン 窓口】  
にて9:00より販売開始



こしがや能楽堂  
048-964-8700

※未就学児童の入場はお断り申し上げます。  
※能楽堂友の会会員・サンシティメンバーズ10%割引、なお、団体でご購入の場合でも割引がございますので、お問い合わせください。  
※前売券は150枚販売。(当日券は天候により販売を中止する場合があります。)  
※本公演のチケットをお持ちのお客様は、公演当日、日本庭園「花田苑」に無料でご入園いただけます。(9:00~17:00 ※入園は16:30まで)  
※公演当日、チケットをお持ちの方は屋外(中庭見所席)と屋内(館内敷席)の席がありますので、どちらか選択していただき、それぞれの入場口よりお進みください。ただし、雨天時(予想含む)の場合、館内敷席のみでの利用となります。  
※能楽堂の「能舞台」及び「観覧席の一部」は屋外の施設となりますので、防寒及び暑さ対策にご留意ください。  
※会場内での飲食はできません。また、公演中の写真撮影・録音・録画行為は固くお断りいたします。

主催:公益財団法人越谷市施設管理公社

写真提供:伶楽舎

## 公演の見どころ

埼玉県唯一の野外舞台の『こしがや能楽堂』での雅楽公演、今回は管絃と舞楽を中心に雅なプログラムをお届けします。

平安時代の貴族たちの音楽の遊び「御遊ぎょゆう」に由来する「管絃」は、絃楽器を入れて繊細な合奏を聴かせるのが特徴です。有名な平調へんてうの「越天楽」、歓喜の声を備えていると言われる格調高い「合歡塩がっかん」、禪脱舞という曲芸的な舞りんこだつに由来するというリズムカル「輪鼓禪脱」などの名曲を、解説を交えてご紹介します。

芝祐靖あげまき作曲「総角の歌」は、鉄絃箏と歌、および排簫による曲で、「そを思うと何もせずして春日すら」（あなたのことを思うと何も手につきません、長閑な春の日ですら）と切ない思いを歌った恋の歌です。歌詞のみ残っていた古い神楽歌に曲をつけたもので、正倉院復元楽器の排簫と鉄の絃を張った箏の特別な音色が古代の響きを伝える人気の一曲です。

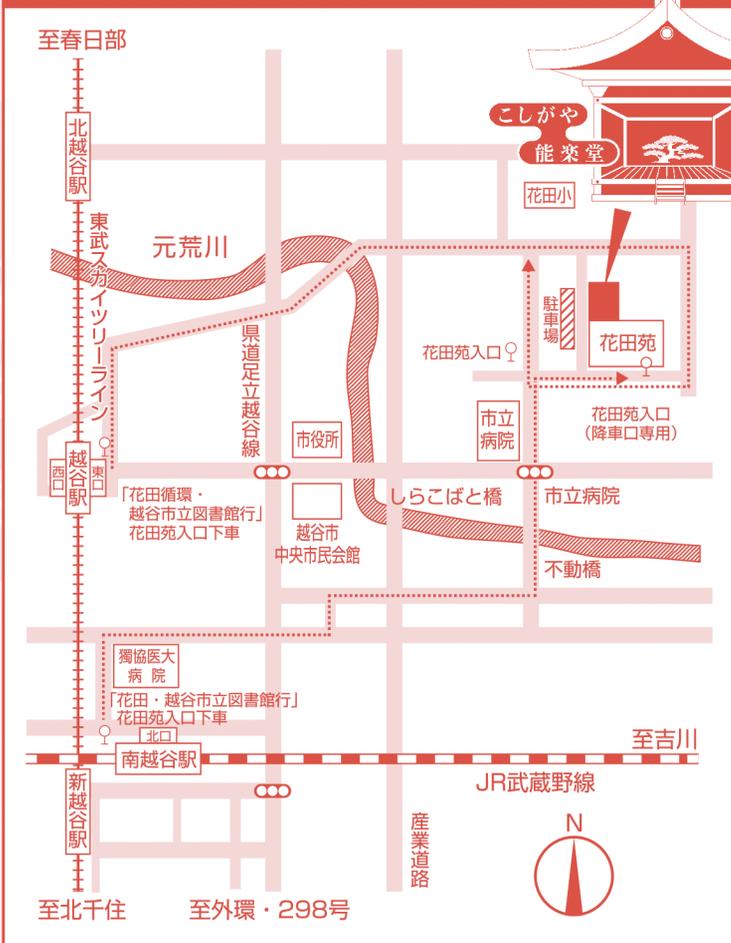
舞楽「還城楽げんじょうらく」（右方）は、西域の人が蛇を取って喜んでいる姿を舞にした、或いは玄宗皇帝が戦の後、城に帰ってこの曲を作り、その後この曲を演奏すると蛇の姿で現れた、などの謂れが伝わっている舞で巳年にちなんで選曲しました。登場の舞で、蛇を見つけて喜ぶ様子が特徴的です。その後、八多良拍子（2+3拍子）という拍子で、力強く、勇壮闊達な舞振りが楽しめます。退出音声「長慶子ちやうげいし」は源博雅作と伝えられる曲で、舞楽の後に勢よく演奏される名曲です。

## 伶楽舎について

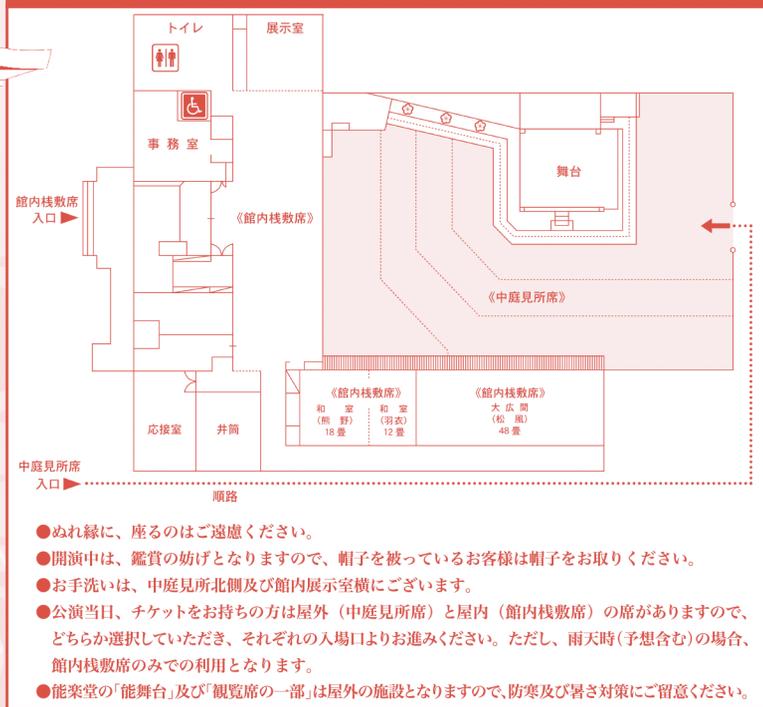
雅楽の合奏研究を目的として、1985年に芝祐靖（元芸術院会員、文化勲章受章者）が創設し、長らく音楽監督をつとめた雅楽団体。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。特に、現代作曲家への委嘱作品や古典雅楽様式の新作の初演には力を入れ、年2回のペースで開催している自主演奏会で度々発表している。

第16回（2016年度）サントリー芸術財団「佐治敬三賞」、2020年第50回ENEOS音楽賞（邦楽部門）等を受賞。他に、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及にも努める。文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」など、小中高の生徒を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども数多く行っている。なお「伶楽舎」とは、古代中国の楽人の祖とされる「伶」に因んで、現行の雅楽のみならず、廃絶曲や新作など、従来の枠にとらわれない幅広い活動を目指して、芝祐靖によって付けられた会名である。

## 「こしがや能楽堂」案内図



## 「こしがや能楽堂」客席図



## 会場アクセス

越谷市日本文化伝承の館

## こしがや能楽堂

TEL : 048-964-8700  
FAX : 048-964-8622

〒343-0015 埼玉県越谷市花田 6-6-1

- 駐車場には限りがありますので、ご来場の際は電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。
- 東武スカイツリーライン越谷駅東口北側ロータリーより花田循環又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分
- 東武スカイツリーライン新越谷駅/JR武蔵野線南越谷駅北口ロータリーより花田行き又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分